

未来の自分に ひとり一人が輝ける 生徒の育成
ーふるさと新宮を愛し、誇りをもつ心を育むー

文責 (校長) 圓 田 雅 也

ー 文化発表会・トライやるウィーク終了 ー

全体的には大いに盛り上がった文化発表会(10/31)でしたが、残念ながら2年生はインフルエンザによる影響で学年合唱コンクールの開催ができず、今週の11/27(木)に変更となりました。

コンクールは別の日となりましたが、とても楽しみにしていますので、頑張りたいと思っています。このように、11月初旬には2年生の学年閉鎖もあり、ご家庭や部活動等にも影響が出てしまい、子どもたちや保護者の皆様には残念な思いをさせてしまったことを申し訳なく思っております。ただ、学年閉鎖明けの11月10日(月)からのト



【3年生による学年合唱】

ライやるウィーク期間中はインフルエンザ等の影響もなく、子どもたちが活動できたことは本当に良かったと感じています。また、この度の学年閉鎖やトライやるウィークでは、保護者や各事業所の皆さまには、ご心配をおかけしましたが、色々なところで支えていただき、無事に終了できましたことに感謝しております。ありがとうございました。

～ご紹介～

ーまだまだ、夢に向かって挑戦されていますー

【北川 進氏】京都大学特別教授 科学者 2025 ノーベル化学賞受賞

「うそつき」呼ばわりされたこともあり、「くそっと思ひ、やり直す日々の連続だった・・・。」

座右の銘は、「疾風知勁草(しっぷうにけいそうをきる)」という。(神戸新聞:正平調より)

先月(10月)版で、北川さんのことについて少しふれさせていただいたところですが、11/20(木) spring8(光都)において開催された北川氏の講演会のお話を聞かせていただく機会がありました。多くのコメントがありましたが、心に残ったことを伝えさせていただきます。

○何事も体力が必要であること。学生の頃、背が高くバレーボールを勧められ、バレーボールをすることで、体力がついた。また、チームワークも学ぶことができて良かった。

○数学の先生から「自分だけ理解しているだけではいけない。周りの人にも理解を助けられるようにならないといけない。」この言葉が、原点となった。(中学時代から思い続けていた。)

○実験がうまくいかなかったときは？

→ほとんどうまくいかないもの→失敗から新しいことが生まれるという考え方で挑戦してきた。

○運鈍根(うんどんこん)が大切 ※①うん②どん③こん・・・とは↓

①幸運に巡り合うこと。②鈍重と言われる程辛抱強いこと。③根気が強いこと。

この3つの要素が成功の基である。

☆新中生には、以上のような北川氏の言葉を参考に、前向きな気持ちで、あきらめず、自分の輝く未来に向かってチャレンジしてほしいと願っています。